

1 単元名 ワールドレストランへようこそ! What would you like?

2 単元のねらい

世界の様々な料理に興味をもつとともに、好きなものをたずねることやレストランでの丁寧な注文の仕方を知ることを通して、自分と友達との共通点や違いに気付く。

3 単元でめざす学ぶ楽しさ

世界には様々な食べ物があることを知り、友達の好きな食べ物を聞くことで、自分の好きな食べ物との違いや共通点に気付く楽しさ

世界の食文化は実に多様であり、世界の食文化に触れることは、その国に興味をもつことにつながる。日本にいながら多様な食文化にふれることができる現代、料理は子どもにとって世界と触れ合うことができる最も身近な文化と言える。

本単元では、たくさんの料理の中から自分の好きな料理を組み合わせ、オリジナルのメニューを作る。そのメニューにした理由を紹介することで、友達と自分との共通点・相違点に気付き、他者理解を深められるようにする。また、先生や友達にメニューを提案するという活動を行うことで、児童は相手意識をもつ。食べ物や飲み物の好き嫌いだけでなく、相手が好む味や体調など、様々な理由を考えてメニューを提案する。その際に、児童は単元のターゲットとなる英語表現だけでなく、これまでに学習した様々な英語表現を使って相手に質問をする。「〇〇について聞きたい。」「～が好きか聞きたい。」「～は食べるか聞きたい。」など、自分の聞きたい情報に「こだわり」をもって質問することになる。相手意識をもって活動に取り組むことで、より必然性のあるコミュニケーションにつながることをねらう。

4 単元計画 (総時数5時間)

主な活動と内容	学ぶ楽しさを味わう手だて
1 世界の料理に興味をもつ (1時間) ○世界の料理クイズ 人気料理ランキング What do you want? I want ~.	(2) 他者理解・異文化理解につながるコミュニケーション 世界の料理を紹介し、そのランキングを調べることにより、友達の好きなものを知り、自他の違いに興味をもたせる。
2 おすすめのメニューを考える (3時間) ○自分の好きなメニューを考え、紹介する What do you want? I want A, B, and C. This is my menu. It's A, B, and C. ○ジム先生におすすめのメニューを考える (本時) Do you like~? Do you eat ~? Is it ~?	(1) 伝え合う必然性のある学習内容や場面 自分の食べたいものではなく、相手にすすめるものを考えるために、好きな食べ物や飲み物は何か、どんな味が好きか、など相手の好みや様子を質問できるようにする。
3 レストランで注文する (1時間) ○友達が考えたメニューの中から選んで注文する What would you like~? I'd like to ~.	(3) 自分の世界を広げるふりかえり 友達がどのような食べ物や味を好むのかやその理由を知り、他者や異文化に対する認識を深める。

5 本時の学習（第4時）

(1) 本時のねらい

ジム先生におすすめのメニューを提案するために、知っている表現を使おうとする。

(2) 本時における学ぶ楽しさ

知っている表現を使って質問しながら、おすすめメニューを考える楽しさ

(3) 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて
5	<p>1 あいさつ</p> <p>How is the weather? What's the date today?</p> <p>Teacher's Talk</p>	
7	<p>2 課題を知る</p> <p><ジム先生におすすめのメニューを考えよう></p>	
	<p>○ジム先生におすすめのメニューを考えるにはどうしたらいいかな</p>	
	<p>・ジム先生に好きな食べ物を質問したいよ。</p>	
	<p>A: Do you like fish? H: Yes, I do, but I like meat, too.</p>	
	<p>A: Are you thirsty? H: Yes. I'm hot.</p>	
	<p>A: Are you sleepy? H: Yes, I am.</p>	
	<p>A: Which do you like rice or bread? H: I like rice.</p>	
	<p>A: O.K..... How about rice, fried chicken, sashimi, and coffe?</p>	
	<p>A: Oh my god....</p>	
15	<p>4 おすすめのメニューを考える（グループ）</p> <p>○ジム先生が食べたいものを考えよう。</p> <p>・ジム先生は野菜好きかな。魚と肉だったらどちらが好きだろう。どちらが、と聞くときは何て言ったらいいのかな。</p> <p>・飲み物は何がいいかな。</p> <p>・メニューの中から料理を選ぶよ。もうひとつはグループで自由に考えよう。</p>	<p>(1) 伝え合う必然性のある場面や学習内容</p> <p>おすすめメニューを提案するために、ジム先生の好きな食べ物や味の好みなどを児童が知りたい内容について質問できるようにする。既習の英語表現から使える表現を選択したり、新たな英語表現を教えたりする。相手意識をもつことで、「聞きたい」という思いをもって質問できるようにする。</p>
13	<p>5 おすすめのメニューを発表し、交流する（一斉）</p> <p>・発表の仕方を練習しよう How about?を使おう。</p> <p>・○グループは～と～のセットにしたよ。理由は・・・。</p> <p>○先生が選ぶランチメニューはどれだろう。</p>	
5	<p>・ジム先生が□グループを選んだ理由は何かな。</p> <p>6 ふりかえりをする</p> <p>・ジム先生の好きな食べ物についてたくさん質問ができたよ。ジム先生の食べ物の好みがよく分かった。</p> <p>・わからない言葉はみんなで考えたり調べたりして英語で</p>	<p>(2) 他者理解・異文化理解につながるコミュニケーション</p> <p>グループでの協働学習をすることで、わからない表現を教え合うことができるようにする。また、ジム先生の好きなメニューを知ること、自分の好きなメニューと比較し、他者理解につなげる。</p>
<p>ジム先生が食べたいランチメニューは○○だった。ジム先生の好きな食べ物をいろいろな英語を使って質問することができた。次は食べたいメニューをレストランのように質問してみよう</p>		